ボーリング柱状図

調　査　名	二級河川黒瀬川水系正力川砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う測量設計等業務委託
事業・工事名	二級河川　黒瀬川水系　正力川砂防激甚災害対策特別緊急事業

ボーリングNo 4

シートNo 1

ボーリング名	BorNo.4	調査位置	広島県東広島市八本松町正力　地内			北緯	34° 27’ 51.30”
発注機関	広島県　西部建設事務所　東広島支所			調査期間	令和 2年 12月 1日 ～ 2年 12月 2日	東経	132° 42’ 53.20”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H=277.83m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 11°	使用機種
総掘進長	11.00m					試錐機	東邦D1-B48型	ハンマー落下用具	半自動落下型
						エンジン	ヤンマーNFD12型	ポンプ	東邦BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	276.23	1.60	1.60		礫混り砂	褐			表層付近は、有機質土よりなる。 以下、径40mmまでの亜角礫を所々に混入する、マサ状土砂。深度0.5m以深より、西条層と思われる。
2 3	273.83	2.40	4.00		礫混り砂	灰白～オリーブ褐			径20mm程度までの亜角礫を混入する、粗粒主体の砂。 全体に細礫を伴う。 所々に花崗岩質を呈す、径10mm内外の風化礫を混入する。 深度2.0m付近では、含水比がやや高い。
4 5	271.98	1.85	5.85		粘土質砂	暗灰～青灰			粘土分を多量に含む、細粒～中粒主体の砂。 深度4.5m付近では、木片や未分解の有機物片を混入する。 全体に雲母片を伴う。 最下部では、径10mmの花崗岩質を呈す、風化礫や細礫を混入する。
6 7 8	269.83	2.15	8.00		花崗岩・風化土	黄褐～灰～白青灰～褐			岩級区分のDL級に相当する、強風化花崗岩。 コアは土砂の柱状で採取され、指圧にてマサ状に崩れる。 岩構造は明瞭である。
9 10 11	266.83	3.00	11.00		花崗岩・軟岩	褐			岩級区分のDH級に相当する、風化花崗岩。 コアは柱状で採取され、ハンマーの打撃によりマサ状に崩れる。 岩構造は明瞭、深度9.3m付近では、礫状コアを成す。

孔内水位(m)／測定月日：12/1 2.19

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	5	4	2	11/30	11
1.45 2.15	2	2	4	8/30	8
2.45 3.15	2	2/15	1/5	5/30	5
3.45 4.15	1	1/13	1/9	3/32	3
4.47 5.15	1/13	1/12	1/7	3/32	3
5.47 6.15	5	7	7	19/30	19
6.45 7.15	7	7	9	23/30	23
7.45 8.15	17	33		50/20	75
8.35 9.10	30	20/4		50/11	107
9.24 10.05	50			50/10	150
10.15 11.05	50			50/10	150
11.15					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日：12/1　12/2